●計画策定の目的と役割

住み継いでいく誇り 自らのまちを守り育てる

街道でつながる地域の歴史や文化を次の世代へ

歴史・文化を活かし地域の活性化

平成17年2月の市町村合併により、高山市は日本一広大な面積を有するまちになりました。これにより、個性豊かな魅力あふれる市域になりましたが、一体感の醸成と多種多様な歴史と文化、地域資源を活かした地域の活性化が課題となっています。

こうした背景も踏まえ、歴史まちづくり法に定める計画を策定し、「歴史的風致」を守り、さらに向上させていくことにより、地域の活性化につなげることを計画策定の目的としています。

北方法力集落（丹生川町）の農村景観

城下町と農山村集落をつなぐ歴史街道

高山市の「歴史的風致」は、東山寺院群などの長い歴史と伝統によって構築された歴史的建造物とその周辺市街地、そしてそこで行われる祭礼行事や年中行事など、歴史と伝統を反映した人々の活動という二つの要素が一体となっています。これを今後も維持し、さらに向上させることがこの計画の役割です。

計画では、市域全体を江戸時代からの構成要素である「城下町高山」、「城下町からのびる5つの街道」、「街道沿いの農山村集落」という大きな構成要素（図1）でとらえています。

重点区域を設定 市全体の活性化に期待

計画区域（高山市全域）の中に位置づける重点区域は、文化財や祭など伝統的な活動が色濃く残る「城下町高山」区域を設定しました。

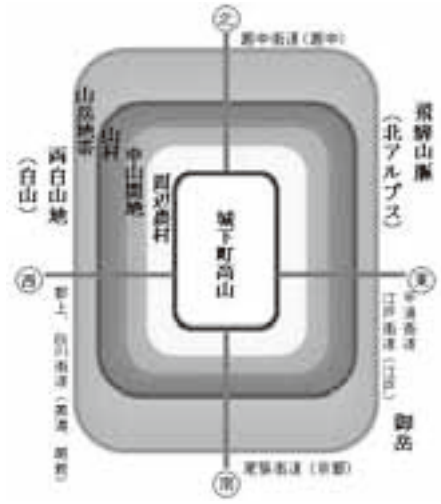
重点区域の歴史的風致を守り、向上させていくことで、伝統的な形態の生活が残る周辺の農山村地域を含めた市全体の魅力を高めていくこととしています。

なお、計画の期間は平成20年度から24年度までの5年間です。

歴史的風致を守り、さらに向上させるための基本方針

- ○歴史的な町並み、多様な歴史的建造物、農山村景観の積極的な保存と活用
- ○伝統的な行事、文化、工芸技術の継承のための支援
- ○「まちづくり計画」と連携した良好な環境の整備

江戸時代からの構成要素概念図（図1）



村上神社（奥飛騨温泉郷）の鶏芸